

週日の説教

金 大烈 神父 2010年5月25日(火)

《いつも神様が中心》

町に神様が現れ、人々に「あなた方の夢をかなえてあげるから、みんなで話し合って三つの夢を出しなさい。」と言いました。そこで町の人たちは、“神様に何を願うか” いろいろ話し合いました。

その頃、町は雨による被害を受けていました。だから、「こんなに雨が降らなければよい。」という意見が提案され、みんなもそれに同意しました。そして一つ目の夢として「みんなで話し合ったのですが、この町は雨の被害が多い所です。梅雨に入ると洪水やいろいろなことで大きな被害が出ます。そのようなことがないように、いつもよい天気をください。」と願いました。神様は、「わかった。そのようにしよう。」とおっしゃって、その日から雨は降らなくなりました。

雨が降らないとどうなるでしょうか。植物が育ちませんね。そこで町の人たちはまた心配になりました。そして二番目の夢として、「昼間はよい天気になるように、夜になったら雨が降るようにしてください。」と願いました。するとまたそのとおりになり、昼間はいつもよい天気で、夜になると雨が降り続けました。

しかし毎晩雨が降ると不便なこともあり、また困ってしまいました。だから、“一つしか残っていない夢だけれど仕方がない” と思い、神様の前で「元のとおりにしてください。」と頼みました。そして結局、それまでと同じ日々を迎えている、というお話です。

私たちには、いろいろな望みがありますよね。ここに座っていらっしゃる皆様にも、それぞれの望みがあると思います。私にもあります。しかし、何かを願う時には、よく考えてほしいと思います。この望みが、本当は何のためのものなのか。今の瞬間のためのものなのか、永遠のためのものなのか。周りの人のためのものなのか、家族のためのものなのか、自分のためのものなのか。よく考えてから、本当に望むべきものを望まなければならないと思います。そしてそのためには、判断できる知恵が必要になると思います。今日の集会祈願では、「わたしたちが何をなすべきかを知り、果たすべき使命を全うすることができますように。」と祈りましたね。「私たちのなすべきこと」を具体的に言えば、「私たちが望むべきこと」になるのではないのでしょうか。

今日の福音(マルコ 10・28 31)で、使徒ペトロは、「何もかも捨ててあなたに従って参りました。」とイエス様に言い、報酬か何かを願いました。しかしイエス様の答えは、全然違う内容でした。「家族、全ての関わり、持ち物を私のために捨てればあなたは救われる。」という内容でした。これはどういう意味でしょうか。一つ一つ考えてみましょう。最初は、「家を捨てれば」ですね。なぜ家を捨てなければならないのでしょうか。続いて、「兄弟、姉妹、母、父、子ども、畑を捨てれば」です。これではもう私たちはみんな救われませんか。(笑)「これらを捨てた者はだれでも、今この世で、迫害も受けるが、家、兄弟、姉妹、母、子ども、畑も100倍受け、後の世では永遠の命を受ける。」と続きます。

これはどういう意味で書かれたと思いますか。この言葉は、心の中心に何を置かなければならないかを分かりやすく説明しているものです。

3年前も同じ福音でしたから、たぶん同じ話をしたと思いますが、神様と家族を比べてみましょう。皆様ならば、神様と家族と、どちらを選びますか。私たちの人間的な狭い考え方では、家族が先ですよ。しかし私たちの信仰が本物ならば、神様に任せるべきです。何よりも先に神様のみ言葉に従おうとすれば、そのことで家族が何か嫌な気持ちになったとしても、結局神様がこの家族を守ってくださいます。私たちがそういうことに気付かなくて、いつも目の前の家族を守ることを優先させてしまい、全てのことを失ってしまうことも結構あります。皆様が本当にイエス様を信じれば、イエス様は愛するあなたがたの家族に知らんぷりはしません。しかし私たちは、愚かさによって、いつも目の前の物に縛られてしまうのです。ごミサに与っている今にも痛みや心配を持っている方がいると思います。その心配のために、“これは不幸なことだ”、“だから神様は嫌いだ”とってしまうと、結果は自己破壊です。どのような痛みがあっても、希望を持って、“神様には何かみ旨があるのだろう。私がまじめに従えば必ず救ってくださるのだろう”という希望を持てば、もしそのような結果にならなかったとしても、心で救われます。この福音は、そのような話です。

皆様、私たちの時代には、昔のような迫害はないと思います。しかし自分で自分に与えてしまう迫害、そして些細な言葉によってお互いを迫害してしまう場合が結構あります。そのような迫害ならば捨てて、神様を賛美するための迫害ならば喜びなさい、というイエス様のみ言葉なのです。

私たちは、何を望めばよいのでしょうか？

ありがとうございました。